



## シャーシの管理

この章は、次の項で構成されています。

- [単一サーバのデュアル接続](#) (1 ページ)
- [シャーシ要約](#) (2 ページ)
- [シャーシインベントリ](#) (6 ページ)
- [ダイナミックストレージ](#) (8 ページ)

### 単一サーバのデュアル接続

デュアル VIC およびシングルサーバハードウェア構成を持つシャーシを備えた S3260ストレージサーバは、2番目のSIOCの仮想インターフェイスカードの仮想ネットワークインターフェイス (vNIC または vHBA) を、ホストネットワーク トライフィック用としては使用しません。この2番目のSIOCは、シャーシ管理コントローラ (CMC) の冗長性のためにのみ使用されます。このリリースでは、S3260ストレージサーバは、次の2つの要因に基づいて、デュアル接続性を備えた単一のサーバをサポートしています。

- サーバボードと SIOC カード間の PCIe は、BIOS を使用して接続されます。
- CMC は、サーバ ID とそれを作成した仮想ネットワーク インターフェイスとの正しいアソシエーションを制御します。

この機能を使用すると、Web UI またはコマンドラインインターフェイスを使用して有効または無効にすることで、新しい単一サーバのデュアル VIC シャーシプロパティを Cisco IMC で設定できます。

Cisco IMC のハードウェア設定に基づいて、特定の PCI 接続が VIC で有効になります。CMC は現在のシャーシハードウェア構成とともにシングルサーバデュアル VIC プロパティを使用して、デュアル SIOC VIC のいずれかに仮想ネットワークインターフェイスを作成するときに指定するサーバ ID プロパティを識別します。Web UI 上の VIC 設定ページには、VIC が PCIe にリンクされているサーバ ID の読み取り専用属性が表示されます。これはホストサーバによって、仮想ネットワークインターフェイス トライフィック用に使用されます。

## 単一サーバのデュアル SIOC 接続の設定

### 始める前に

- このタスクを実行するには、admin 権限を持つユーザとしてログインする必要があります。
- シャーシには、単一のサーバと 2 つの VIC アダプタ (SIOC) が必要です。

### 手順

**ステップ1** [Navigation] ペインの [Chassis] メニューをクリックします。

**ステップ2** [Chassis] メニューの [Summary] をクリックします。

**ステップ3** [Chassis Summary] ペインの [Chassis Properties] 領域で、[Server SIOC Connectivity] フィールドから、[Single Server Single SIOC] または [Single Server Dual SIOC] を選択します。

単一のサーバと 2 つの SIOC が搭載されたシャーシがある場合、[Server SIOC Connectivity] フィールドに [Single Server Dual SIOC] と表示されます。

**ステップ4** [Save Changes] をクリックします。

これにより、デュアル接続またはシングル接続用にサーバが設定されます。

## シャーシ要約

### シャーシサマリーの表示

デフォルトでは、Cisco UCS C シリーズラックマウントサーバにログオンすると、シャーシの [サマリー (Summary) ] ペインが Web UI に表示されます。次の手順を実行することで、別のタブまたは作業領域を開いている際に、シャーシのサマリーを表示することもできます。

### 手順

**ステップ1** [Navigation] ペインの [Chassis] メニューをクリックします。

**ステップ2** [Chassis] メニューの [Summary] をクリックします。

**ステップ3** [Chassis Summary] ペインの [Chassis Properties] 領域で、次の情報を確認します。

名前	説明
[Product Name] フィールド	シャーシのモデル名。
[Serial Number] フィールド	シャーシのシリアル番号。

名前	説明
[PID] フィールド	製品 ID。
[Description] フィールド	シャーシのユーザ定義の説明。
[アセットタグ (Asset Tag) ] フィールド	サーバのユーザ定義のタグ。デフォルトでは、新しいサーバのアセットタグには [Unknown] と表示されます。
[Server SIOC Connectivity] フィールド	<p>(注) このフィールドは、シャーシに 1 つのサーバと 2 つの VIC (SIOC) アダプタが取り付けられている場合にのみ編集できます。</p> <p>サーバが単一の SIOC または 2 つの SIOC に接続されているかどうかを示します。次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Single Server Dual SIOC] : これにより、2 つの VIC アダプタ (SIOC) を単一の使用可能なサーバに向けることができます。これはデフォルト値です。</li> <li>• [Single Server Single SIOC] : これにより、特定のサーバに単一の SIOC を設定することができます。</li> </ul>

ステップ4 [Chassis Summary] ペインの [Cisco IMC Information] 領域で、次の情報を確認します。

名前	説明
[Hostname] フィールド	Cisco IMC のユーザ定義のホスト名。デフォルトでは、ホスト名は CXXX-YYYYYY 形式で表示されます (XXX はサーバのモデル番号、YYYYYY はシリアル番号です)。
[Management IP Address] フィールド	Cisco IMC の管理 IP アドレス。
[Timezone] フィールド	選択されたタイムゾーンを表示します。
[Select Timezone] ボタン	タイムゾーンを選択できます。[Select Timezone] ポップアップ画面で、マップの上にカーソルを移動し、ロケーションをクリックしてタイムゾーンを選択するか、もしくは [Timezone] ドロップダウンメニューからタイムゾーンを選択します。

## ■ シャーシ サマリーの表示

名前	説明
[Current Time] フィールド	<p>Cisco IMC クロックが示している現在の日時。</p> <p>(注) Cisco IMC NTP が無効になっている場合、サーバ BIOS から現在の日時を取得します。NTP を有効にすると、BIOS および Cisco IMC は現在の時刻と日付を NTP サーバから取得します。この情報を変更するには、サーバをリブートし、BIOS 設定メニューへのアクセスに関するメッセージが表示されたら <b>F2</b> キーを押します。メインの BIOS 設定タブでオプションを使用して日付または時刻を変更します。</p>
[Local Time] フィールド	選択したタイムゾーンに準じた地域のローカルタイム。カレンダーアイコンをクリックするか、またはローカルタイムを選択することで、ローカルタイムを設定できます。

ステップ5 [Chassis Summary] ペインの [CMC 1] および [CMC 2] 領域で、次の情報を確認します。

名前	説明
[IP Address] フィールド	CMC の IP アドレス。
[MAC Address] フィールド	アクティブなネットワークインターフェイスに割り当てられている MAC アドレス。
[Firmware Version] フィールド	現在の CMC ファームウェアのバージョン。
[State] フィールド	<p>サーバの状態。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Active] : CMC はアクティブです。</li> <li>• [Standby] : CMC はスタンバイ モードです。</li> </ul>

ステップ6 [シャーシ要約 (Chassis Summary) ] ペインの [シャーシステータス (Chassis Status) ] 領域で、次の情報を確認します。

名前	説明
[Overall Chassis Status] フィールド	<p>シャーシの全体のステータス。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Good</b></li> <li>• <b>[Moderate Fault]</b></li> <li>• <b>[Severe Fault]</b></li> </ul>

名前	説明
[Temperature] フィールド	<p>温度ステータス。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Good</b></li> <li>• <b>[Fault]</b></li> <li>• <b>[Severe Fault]</b></li> </ul> <p>このフィールドのリンクをクリックして、詳細な温度情報を表示できます。</p>
[Overall DIMM Status] フィールド	<p>メモリ モジュールの全体的なステータス。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Good</b></li> <li>• <b>[Fault]</b></li> <li>• <b>[Severe Fault]</b></li> </ul> <p>このフィールドのリンクをクリックして、詳細なステータス情報を表示できます。</p>
[Power Supplies] フィールド	<p>電源装置の全体的なステータス。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Good</b></li> <li>• <b>[Fault]</b></li> <li>• <b>[Severe Fault]</b></li> </ul> <p>このフィールドのリンクをクリックして、詳細なステータス情報を表示できます。</p>
[Fans] フィールド	<p>電源装置の全体的なステータス。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Good</b></li> <li>• <b>[Fault]</b></li> <li>• <b>[Severe Fault]</b></li> </ul> <p>このフィールドのリンクをクリックして、詳細なステータス情報を表示できます。</p>
[Front Locator LED] フィールド	<p>シャーシの前面パネル ロケータ LED がオンかオフか。</p> <p>(注) このオプションを使用できるのは一部の UCS C シリーズ サーバだけです。</p>

## ■ シャーシインベントリ

名前	説明
[全体のストレージステータス (Overall Storage Status) ] フィールド	すべてのコントローラの全体的なステータス。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>Good</b></li><li>• <b>[Moderate Fault]</b></li><li>• <b>[Severe Fault]</b></li></ul>
[Power Status] フィールド	• [Server 1] : サーバ 1 の電源がオンかオフか。 • [Server 2] : サーバ 2 の電源がオンかオフか。
[Locator LED] フィールド	• [Server 1] : サーバ 1 のロケータ LED がオンかオフか。 • [サーバ 2 (Server 2) ] : サーバ 2 のロケータ LED がオンかオフか。

**ステップ 7** [Chassis Summary] ペインの [Power Utilization] 領域で、シャーシとサーバの電力使用率を円グラフの図で確認します。

**ステップ 8** [Chassis Summary] ペインの [Server Utilization] 領域で、グラフで表示された次の情報を確認します。

## シャーシインベントリ

### シャーシ上のサーバの詳細の表示

#### 手順

**ステップ 1** [Navigation] ペインの [Chassis] メニューをクリックします。

**ステップ 2** [Chassis] メニューで、[Inventory] をクリックします。

**ステップ 3** [Inventory] 作業ウィンドウに、[Servers] タブがデフォルトで表示されます。シャーシ上のサーバの高いレベルの詳細を確認します。

名前	説明
[Name] カラム	サーバのモデル名。
[PID] カラム	製品 ID。
[UUID] カラム	サーバに割り当てられている UUID。

名前	説明
[SysSerialNum] カラム	サーバのシリアル番号。
[Number of Cores] カラム	CPU のコアの数
[Memory] カラム	使用可能な総メモリ。
[Power State] カラム	現在の電源状態。

## 電源のプロパティの表示

### 手順

ステップ1 [Navigation] ペインの [Chassis] メニューをクリックします。

ステップ2 [Chassis] メニューで、[Inventory] をクリックします。

ステップ3 [Inventory] 作業ウィンドウで、[Power Supplies] タブをクリックし、各電源の次の情報を確認します。

名前	説明
[Device ID] カラム	電源装置ユニットの ID。
[Status] カラム	電源装置のステータス。
[Input] カラム	電源装置への入力（ワット単位）。
[Max Output] カラム	電源装置からの最大出力（ワット単位）。
[FW Version] カラム	電源装置のファームウェア バージョン。
[Product ID] カラム	ベンダーによって割り当てられた電源の製品識別子。

## Cisco VIC アダプタ プロパティの表示

### 手順

ステップ1 [Navigation] ペインの [Chassis] メニューをクリックします。

ステップ2 [Chassis] メニューで、[Inventory] をクリックします。

**ステップ3** [Inventory] 作業ウィンドウで、[Cisco VIC Adapters] タブをクリックし、次の概要を確認します。

名前	説明
[Slot Number] カラム	アダプタが装着されている PCI スロット。
[Serial Number] カラム	アダプタのシリアル番号。
[Product ID] カラム	アダプタの製品 ID。
[Cisco IMC Enabled] カラム	アダプタが Cisco IMC を管理できるかどうか。この機能は、設置されているアダプタのタイプと、その設定内容によって異なります。詳細については、使用しているサーバタイプに 対応するハードウェアインストレーションガイドを参照してください。
[Description] カラム	アダプタの説明。

## ダイナミックストレージ

### ダイナミックストレージのサポート

このリリースで有効な、Cisco UCS C シリーズラックマウントサーバは、Cisco Management Controller (CMC) のシリアル接続 SCSI (SAS) ドライブのダイナミックストレージをサポートしています。このダイナミックストレージのサポートは、CMC の SAS Fabric Manager によって提供されます。

Fabric Manager は、アウトオブバンドイーサネット接続を介して PMC SAS エクスパンダとやり取りします。SAS エクスパンダを使用すると、SAS コントローラカードのストレージ機能を最大化することができます。これらのエクスパンダを使用して、最大 60 個のハードドライブをサポートする SAS コントローラを採用できます。CMC で、アクティブな SIOC によってエクスパンダのゾーン分割が設定され、ユーザは WebUI、コマンドラインインターフェイス、または Cisco UCS Manager を介してサーバノードにドライブを割り当てることができます。スタンバイ CMC は現在の状態で更新されるため、CMC のフェールオーバーのスタンバイ時に、CMC はゾーン分割の役割を引き継ぐことができます。ドライブが特定のサーバノードに表示されていれば、RAID コントローラを使用してこれらを管理できます。



(注)

SAS コントローラは、デフォルトで 56 台のハードディスクドライブ (HDD) をサポートします。また、サーバノード 2 をサーバ 2 の 4 台の追加 HDD に置き換えるプロビジョンもあります。その場合、[Zoning] ページに表示される HDD の数は合計で 60 です。ただし、CMC は追加の HDD 57、58、59、60 のゾーン分割をサポートしません。

SAS Fabric Manager によって、他のプロセスがエクスパンダおよびドライブを設定またはモニタするための API ライブラリが提供されます。ファブリックの設定には、ドライブのゾーン分割、エクスパンダおよびドライブのファームウェアの更新が含まれます。

ダイナミックストレージは次のオプションをサポートしています。

- サーバ 1 およびサーバ 2 への物理ディスクの割り当て
- シャーシ幅ホットスペア (RAID コントローラでのみサポート)
- 共有モード (HBA でのみサポート)
- 物理ディスクの割り当て解除

## SAS エクスパンダ プロパティの表示

### 手順

ステップ1 [Navigation] ペインの [Chassis] メニューをクリックします。

ステップ2 [Chassis] メニューで、[Inventory] をクリックします。

ステップ3 [Inventory] 作業領域で、[Dynamic Storage] タブをクリックします。

ステップ4 [SAS Expander] タブで、SAS エクスパンダの次の高いレベルの詳細を確認します。

名前	説明
[ID] カラム	エクスパンダの製品 ID。
[Name] カラム	エクスパンダの名前。
[Firmware Version] カラム	エクスパンダが使用するファームウェア バージョン。
[Secondary Firmware Version] カラム	エクスパンダのセカンダリ ファームウェア バージョン。
[Hardware Revision] カラム	エクスパンダのハードウェア バージョン。
[SAS Address] カラム	エクスパンダの SAS アドレス。

## SAS エクスパンダでの 6G または 12G 混合モード速度の有効化

名前	説明
[Server Up Link Speed] カラム	<p>LSI RAID コントローラで受信されるアップリンク速度。</p> <p>(注) 一部の C シリーズ サーバでのみ使用できます。</p> <p>(注) [SAS エクスパンダ (SAS Expander) ] テーブルの右上隅にある [フィルタ (Filter) ] アイコンを使用し、サーバ 1 と 2 に対して、それぞれ最大 4 つの速度レベルを表示できます。テーブル内の個々の速度を表示するには、速度フィルタの横にあるチェックマークを選択します。</p>

## SAS エクスパンダでの 6G または 12G 混合モード速度の有効化

Cisco IMC は、SAS エクスパンダに 6 ギガバイトまたは 12 ギガバイトの混合モード速度をサポートしています。6 ギガバイトのソリッドステートドライブ (SSD) が現在 12 ギガバイトの SSD に移行しているため、このサポートが追加されました。この機能を使用すると、[Dynamic Storage] タブで SAS エクスパンダを選択し、要件に基づいていずれかのモードを有効にすることができます。

### SAS エクスパンダでの 6G または 12G 混合モードの有効化

このオプション (トグルボタン) を使用して、カードに対する 6 ギガバイトまたは 12 ギガバイトの混合モード速度のサポートを有効または無効にすることができます。

#### 手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Chassis] メニューをクリックします。
- ステップ 2 [Chassis] メニューで、[Inventory] をクリックします。
- ステップ 3 [Inventory] 作業領域で、[Dynamic Storage] タブをクリックします。
- ステップ 4 [SAS Expander] 領域で、[Enable 6G-12G Mixed Mode] をクリックします。
- ステップ 5 (任意) 機能を無効にするには、[Disable 6g-12G Mixed Mode] をクリックします。

## サーバへの物理ドライブの割り当て

要件に基づいて、サーバ 1、サーバ 2 またはその両方に物理ドライブを割り当てるすることができます。Web UI の [Chassis Front View] 領域に、シャーシで使用できる物理ドライブが表示されます。個別に物理ドライブを選択するか、またはドライブに対応するチェックボックスをオンにすることで物理ドライブの行全体を選択できます。

## 始める前に

このタスクを実行するには、user または admin 権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

## 手順

**ステップ1** [Navigation] ペインの [Chassis] メニューをクリックします。

**ステップ2** [Chassis] メニューで、[Inventory] をクリックします。

**ステップ3** [Inventory] 作業領域で、[Zoning] タブをクリックします。

[Chassis Front View] が表示されます。

**ステップ4** [Chassis Front View] 作業領域で、個々のサーバまたはサーバの行を選択します。

**ステップ5** [Assign to Server 1] または [Assign to Server 2] リンクをクリックします。

コントローラとパスの値を選択するダイアログ ボックスが表示されます。

名前	説明
[Controller] ドロップダウン	選択した物理ドライブを割り当てるコントローラを選択できます。 (注) コントローラのオプションは、すべてのデュアルコントローラに使用できます。
[パス (Path) ] ドロップダウン	SAS エクスパンダのパスを選択できます。次のいずれかを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Path-0]</li> <li>• [Path-1]</li> <li>• [Both Paths]</li> </ul> (注) パスのオプションは、DHBA コントローラでのみ使用可能です。

**ステップ6** [Save Changes] をクリックします。

**ステップ7** 両方のサーバに物理ドライブ（複数可）を割り当てるには、[Share] リンクをクリックします。

物理ドライブが両方のサーバに割り当てられることを知らせるプロンプトが表示されます。

**ステップ8** [OK] をクリックして確定します。

(注) 共有モードは HBA でのみサポートされます。

## シャーシ幅ホットスペアとしての物理ドライブの移動

### 次のタスク

物理ドライブをシャーシ幅ホットスペアとして移動したり、サーバの共有またはサーバの割り当て解除を行います。

## シャーシ幅ホットスペアとしての物理ドライブの移動

選択した物理ドライブをシャーシ幅ホットスペアとして移動できます。Web UI の [Chassis Front View] 領域に、シャーシで使用できる物理ドライブが表示されます。個別に物理ドライブを選択するか、またはドライブに対応するチェックボックスをオンにすることで物理ドライブの行全体を選択できます。



(注) シャーシ幅ホットスペアは、Mezz RAID コントローラ (UCS C3X60 ストレージ用の RAID コントローラ) でのみサポートされます。このオプションは、シャーシに HBA カードがある場合は使用できません。

### 始める前に

このタスクを実行するには、user または admin 権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

### 手順

**ステップ1** [Navigation] ペインの [Chassis] メニューをクリックします。

**ステップ2** [Chassis] メニューで、[Inventory] をクリックします。

**ステップ3** [Inventory] 作業領域で、[Zoning] タブをクリックします。

[Chassis Front View] が表示されます。

**ステップ4** [Chassis Front View] 作業領域で、個々のサーバまたはサーバの行を選択します。

**ステップ5** [Chassis Wide Hot Spare] リンクをクリックします。

**ステップ6** [OK] をクリックします。

### 次のタスク

サーバへの追加の物理ドライブの割り当て、サーバの共有、またはサーバの割り当て解除を行います。

## 物理ドライブの割り当て解除

要件に基づいて、サーバ1 または サーバ2 またはその両方から物理ドライブの割り当て解除 (関連付けの削除) を行うことができます。Web UI の [Chassis Front View] 領域に、シャーシ

で使用できる物理ドライブが表示されます。個別に物理ドライブを選択するか、またはドライブに対応するチェックボックスをオンにすることで物理ドライブの行全体を選択できます。

### 始める前に

このタスクを実行するには、user または admin 権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

### 手順

---

**ステップ1** [Navigation] ペインの [Chassis] メニューをクリックします。

**ステップ2** [Chassis] メニューで、[Inventory] をクリックします。

**ステップ3** [Inventory] 作業領域で、[Zoning] タブをクリックします。

[Chassis Front View] が表示されます。

**ステップ4** [Chassis Front View] 作業領域で、個々のサーバまたはサーバの行を選択します。

**ステップ5** [Unassign] リンクをクリックします。

**ステップ6** [OK] をクリックします。

---

物理ドライブの割り当て解除